

# 学校関係者評価書

2019年9月7日開催

名古屋工学院専門学校

## 1. 学校の重点目標

### 1. 教員の質

1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加などを実施することにより、教員の教育力向上を図る。

### 2. 教育内容の質

1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備などにより、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術の導入を図る。

2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのよりいっそうの連携を図る。

### 3. 教育成果の質

1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。

2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。

### 4. 学習環境の質

1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎ならびに教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。

2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般(ハード面、ソフト面)について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

## 2. 学校の重点目標に対する評価・意見

- ① 各課題を1つずつクリアしていただければ良いと思います。
- ② 初めて参加して学校側がここまでしっかりと評価を行っている事に安心しました。これからも頑張ってもらいたいと思います。
- ③ 18歳人口の減少に伴い、専門学校に進学者が減少する中、学生募集には非常に努力されていると思いました。御校の特色や長所を高等学校に幅広く発信しており、入学者が身に付けたい専門的知識や技能・技術、取得したい資格など学生の目的とのミスマッチがない入学者を増やしていると思いました。
- ④ 意欲のある学生が増えれば、授業の質の向上や学校全体の活気が高まり、中長期的に見て学校の価値が高まり、ひいては就職先や就職率もよくなると思います。また、退学しにくい環境ができると思います。より一層充実することを期待しています。
- ⑤ 学校の施策を分かり易く開示し、それを学校関係者に知らしめ意見を求めるという姿勢は、それ自体大変評価できるものと考えます。
- ⑥ 実践教育に重点を置く姿勢は時流にあっているが、社会人としての一般知識・技術の習得も大切でその姿勢を評価したい。
- ⑦ 教育の質。教育内容の質・教育成果の質・学習環境の質等、重点目標をしっかり見極め行っていると思われます。
- ⑧ 学園建学の精神の理念を根底とし、常に新しい情報を取り入れるという柔軟な姿勢である目標は、的確と思われます。
- ⑨ 自己評価と課題に関する取り組みは、全てに充実していると思います。
- ⑩ 面接時に学校選びの理由を聞くと、多くが「オープンキャンパスで丁寧にしてもらった」と言われます。教育内容や学生作品レベルではなく、「優しく受け入れて貰える」という感覚が大事なようです。オープンキャンパスの数値化、丁寧で親切にできたかの数値化など、目標にできるとよいかも知れません。教育課程編成委員会にも参加させていただいており、企業との連携に力を入れ、社会のニーズに合う学生の育成を目標とされている学校であることが実感できました。

### 3. 学校自己評価報告書についての評価点の平均

基準ごとに次の3点について4段階で評価してください	学校が行った自己評価の結果が適切かどうかについて。	学校運営等の改善に向けた実際の実践の取組みが適切であったか。	自己評価の結果を踏まえた今後の改善方針が適切であったか。
	4：適切な評価である	4：十分適切な取組みである	4：十分な効果が期待できる
	3：ほぼ適切な評価である	3：ほぼ適切な取組みである	3：ほぼ十分な効果が期待できる
	2：やや不適切な評価である	2：あまり適切とはいえない取組みである	2：あまり効果が期待できない
	1：不適切な評価である	1：適切とはいえない取組み	1：効果は期待できず、改善を要する
(1) 教育理念・目標	4.0	4.0	4.0
(2) 学校運営	3.9	4.0	4.0
(3) 教育活動	3.9	3.9	3.9
(4) 学修成果	3.9	3.9	3.9
(5) 学生支援	4.0	4.0	4.0
(6) 教育環境	3.9	3.9	3.7
(7) 学生の受入れ募集	4.0	4.0	4.0
(8) 財務	4.0	4.0	4.0
(9) 法令等の遵守	4.0	4.0	4.0
(10) 社会貢献	4.0	4.0	3.9
(11) 国際交流	3.9	3.9	3.7

## 4. 今後の改善方策についての意見と具体的な改善方策

### ① 学校関係者評価委員に御校の卒業生を加えて、社会人となった御校出身者の意見を聞いてはいかがでしょうか。

学校評価委員会規程第5条2項に、『学校関係者評価委員会は、本学の教職員を除く次の各号に掲げる者のうちから、学校長が委嘱した者をもって組織する。委嘱する委員の数は、5人から8人を標準とする。』とあります。各号は『(1) 学生の保護者、(2) 本学の教育に関する企業等の関係者、(3) 本学の卒業生、(4) 教育に関する理解及び識見を有する者、(5) その他学校長が推薦した者』です。今年度評価委員におきましては、企業関係かつ卒業生の方もいます。次年度も規定に則った委員の方々より、ご意見を伺いたいと思います。

### ② 卒業生を組織化して情報交流の活発化に取り組んで頂ければ、広い意味で学校力の強化になると思います。また、卒業生で転職を経験した者から、転職に至るまでの経緯を、在校生に助言できれば有効ではないかと思えます。

目標とする専門職に就くことができた卒業生を講師として招き、在校生に向けて講演会を実施しております。転職経験のある卒業生を講師として招いたことはありませんが、転職の経緯などを在校生に伝えることは、応募企業の選定に役立つと思われれます。今後の検討材料にしたいと思います。

### ③ 就職後（1年以内）の動向の把握を行い、今後の運営に生かして欲しい。

求人を受けている企業様からは、求人情報ならびに卒業生の動向も伺っています。また、学生インターンシップ期間中における企業訪問では、学生の様子と共に卒業生の動向や業界のお話を伺っています。企業等との密接な連携により、最新の実務・知識等を身につけられる教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組んでいきたいと考えています。

### ④ 新規入学者をターゲットとしたアンケート調査を実施し、現実と理想のギャップを埋めるための対策を講じてはどうでしょう。（中途退学者対策）

広報的な戦略のひとつとして、入学に至った理由（『本校を知った理由』『パンフレットの入手方法』『利用しているSNS』など）を、新入生アンケートの中で聞いております。また、現実と理想のギャップを調査するアンケートとして、卒業を迎える学生に対して「学生生活・就職活動」における満足度調査を実施しています。それぞれにおいて自由コメント欄を設け、学生の声を把握できるようにしています。

### ⑤ 地域ボランティアの一環として地域住民向けの講座（パソコン簡単年賀状作成講座等）を開講して、どんな学校かを地域住民に知ってもらう場を提供してはどうでしょうか。また、地域住民との防災対策の情報交換の場を設けてはどうでしょう。

社会貢献の一環として、「高校生または高等学校教員向けの講座」「高等学校へ出向しての出前授業」「プログラミングやロボット競技会」「高等学校（愛知県内）の文化祭ステージや地域のお祭りなどのイベント支援」を行っています。また、学園祭では、地域住民の皆様に来校していただく機会を

設け、地域に役立てる学校として認知していただけるよう努力しています。

⑥ 人材教育の一環として上級生が下級生の教育を行い、教える立場の者が一番勉強しなければならないことを知ってもらおうと良いと思います。

特定の分野においては、自主参加型のゼミナールを開講しており、学年の垣根を越えた交流ができております。全ての分野でも同様な体制が取れるよう努めていきたいと思ひます。

⑦ 退学率を低減するために、退学までのプロセスを分析、また事例を蓄積することにより今後の施策に反映して欲しい。

退学する学生に対しては、担任が「退学の経緯報告書」を作成します。また、退学の理由を複数のカテゴリに分類し、年度末に統計を取って、その年度の傾向を把握しています。近年では「学力不足」と「経済的な理由」による退学者が多く、退学者減少のため、基礎学力不足を養う補習などを実施しています。さらに、Thanks ドリル（Web での学習教材）の活用を推進しています。

⑧ 名古屋工学院専門学校は理数系の専門学校です。語学等は畑違いかもしれませんが、若干の語学教育も必要かと思ひます。

グローバル社会において学生の語学力向上に取り組んでいきたいと考えていますが、専門技術・技能の取得を優先する必要があるため、現状は取り組めていません。今後、検討課題として取り上げていきたいと考えています。

⑨ 日本の基幹産業である製造機械産業を目指す分野の学生が減っていることが危惧されます。学生募集に繋がる設備投資に力を入れていただければと考えます。

学生募集に繋がる設備投資の体制は整っており、平成 30 年度においても、実習で使用する機材・機器の導入を行っております。また、広報的にも、実習設備についてはパンフレットやホームページに掲載しており、体験入学参加者には実習室の見学を行っております。実習設備に関しては本校の魅力のひとつとして広く紹介しております。